

# 社団法人 東京電機大学校友会

## 第118回 評議員会 第63回 総 会

日 時 平成20年5月24日(土) 13時00分～14時50分

場 所 東京電機大学神田キャンパス7号館1階丹羽ホール

### 議 案

評議員会 総 会	共通	第1号議案	平成19年度事業報告承認の件
		第2号議案	平成19年度決算承認の件並びに監査報告
		第3号議案	平成20年度事業計画案承認の件
		第4号議案	平成20年度予算案承認の件
評議員会		第5号議案	理事・監事選出の件

— ※ —

### 講演会

時 間 15時00分～16時30分

場 所 東京電機大学神田キャンパス7号館1階丹羽ホール

講 師 東京電機大学工学部長 情報通信工学科 脇 英世 教授

演 題 「インターネットの発展と大学の関わり」

### 懇親会(立食パーティー)

時 間 16時45分～18時15分

場 所 東京電機大学神田キャンパス11号館17階大会議室

会 費 無 料

### (講師プロフィール)

脇 英世(わき・ひでよ) 東京電機大学工学部長・情報通信工学科教授  
昭和22年東京都生まれ。早稲田大学理工学部卒業、同大学院博士課程修了。  
工学博士。昭和53年東京電機大学工学部電気通信工学科(現:情報通信工学科)講師、昭和55年同助教授を経て、平成3年から同教授。平成20年4月から工学部長。総務省情報通信技術審議会技術委員、基盤技術開発促進センター委員・技術委員、通信放送機構研究開発プロジェクト・リーダー等を歴任。産業界ではオープンMPEGウィンドウズ・フォーラム(OMWF)会長、Intelアーキテクチャ・アソシエーション(IAA)会長など歴任。著書に、「Windows入門」「LINUXがWindowsを超える日」「インターネットを創った人々」など多数。所属学会:IEEE、情報処理学会、電子情報通信学会

## 平成19年度事業報告

### 1. 校友会員に対するサービスの充実

これまでの各種サービスを見直し、会員にとって魅力あるサービスが展開できるよう検討し実現を目指した。

なお、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の増強について、会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図ることに努めた。

#### (1) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の検討

校友会主動による「生涯使用できる転送専用メールアドレスの提供」について鋭意検討を開始し、現在、業者選定中である。

平成20年度の開設を目指していた「卒業生バックアップセンター（転職支援＋同窓会コミュニティ支援）」（後述）に「校友との連絡を取りやすくする（E-mail 利用）機能」があり、今後この機能と「転送専用メールアドレス」の整合性を整理したうえで、転送メールアドレスを独立したシステムとして構築するかどうかを含め、検討を継続する。

#### (2) 転職希望者への情報提供サイトの検討

転職希望者への情報提供サイト「卒業生バックアップセンター」を平成20年3月中旬に一部オープンした。なお、学生支援センター（キャリア支援・就職担当）の協力のもと、協力企業の開拓に努めている。また、工学情報・冬号において卒業生に対して広報活動を始め、卒業生の登録数を増やす方策を現在実行中である。

このサイトは、主に転職支援と同窓会コミュニティ支援の機能を有している。

転職支援には、強力な企業検索機能・スカウト機能・OBとの情報交換機能等がある。

コミュニティ支援には、同級生検索機能・同級生へのメッセージ送信機能（E-mail 利用）・掲示板機能等がある。

いずれも本学園卒業生のみが利用できるシステムである。

#### (3) 会員への斡旋事業

例年同様、会員に対して次の各種斡旋事業を行った。

- ①学園図書館の利用斡旋
- ②学術図書雑誌の購入斡旋
- ③法律，特許相談の斡旋
- ④校友会協定施設の利用斡旋および補助
- ⑤校友会員限定の特別割引物品の斡旋

#### (4) ホームページからの加入促進

ホームページから、即時、カード決済にて校友会に入会できるように、クレジット会社であるJCB・AMEX・DC・UFJ・NICOS・VISA・MASTERとそれぞれ契約を締結した。

校友会費をクレジットカードで決済することは、先のNOVAの破綻を機にカード会社で会費の前納が問題視され契約締結に苦慮した。

今後、決済の仕組みを構築し、WEBサイトに組み込む作業となるが、実際の決済には、「認証（本人確認）」をある程度厳しく行う必要があるため、既に「認証（本人確認）」の仕組みを持つ「卒業生バックアップセンター」内の機能のひとつとするかどうかを検討する必要がある。

#### (5) 校友会への加入案内の追加送付

平成19年8月に、翌年度会費切れとなる会員に対して継続加入の案内送付に併せて、大学卒業後11年から15年および35年から50年経過した会費切れの卒業生（約20,000人）を対象に加入案内を追加して送付した。

その結果、3月末日現在の会員数が30,161人となり、前年度3月末日と比較して358人増加したことから、若干名ではあるが通常会員の増加に繋がったと考える。

### 2. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として以下の事業を行った。

#### (1) 支部活動の活性化

県支部、地方支部の活発な活動が校友会の活性化に繋がるという考えから、県支部、地方支部総会に校友会の役員が出席し、校友会活動および学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り支部活動を支援した。

全国の地方および県支部総会は21箇所（別表-1）において開催され、可能な限り役員が参加すると共に、支部活動が円滑に行なえるよう事務経費、総会雑費等の援助を実施した。

また、住所判明者が3,000人を超える支部に対

して、当該支部の活動状況を勘案して事務経費を増額した。

#### (2) 同窓会活動への支援

例年同様、大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対して、総会への協力のもとより、日頃から、積極的に支援と協力を行なった。

#### (3) 職域電機会の活性化と新規設立の勧誘

職域電機会の活性化を目的として事務補助費の導入を検討し始めたが、本年度は21の職域電機会(別表-2)の総会が開催され、その開催時への祝金を例年に比べて若干重みを持たして補助の代替とした。

なお、新規設立の勧誘を試みたが、本年度における職域電機会新規設立は1企業に留まった。

また、2月に開催された就職セミナー(大学と大学同窓会との共催)への参加企業は約240社あり、これらの企業を対象に職域電機会設立に関するアンケートを改めてお願いした。今後、校友会ホームページを活用して回答を集計し、設立要請の材料としたい。

#### (4) 留学生OBとの連携

学生支援センター(学生厚生担当)の協力のもと、本学園の留学生で日本に居住している卒業生と校友会準会員である在学中の留学生との交流会を開催し、若干名ではあったが卒業留学生の参加を得た。

#### (5) 校友会会員管理システムのリプレース

種々検討した結果、学園システムのリプレースとは切り離して単独で開発し、当初予定していたマイナーチェンジではなく全面的なリプレースを行った。

導入したシステムは、いわゆる「パッケージソフト」であり、細部は異なるものの複数の大学がノウハウを出し合って構築した(本学も参加)ため、導入費用が圧倒的に安価(基本180万円)であると同時に、他大学のノウハウを共有できる利点がある。また、ランニングコストも低く抑えることが可能で、年間200万円ほどの経費が削減される。

機能は従来システムのほぼすべてを網羅しており、さらに操作性が向上している。標準機能として、「コンビニ振込」に対応しており、今後の加

入促進に役立つものと考えている。

また、7年前に導入した旧校友会システムが年度途中で経年劣化によりダウンすることなく運営できたのは幸いであった。

#### (6) 校友会組織の基盤に関する検討

組織管理委員会において、平成19年度全国支部長会に寄せられた意見について、キーワードを基に集約ならびに分析をはじめた。

なお、検討事項は次のとおりであった。

- ① 通常会員会費収入の現状分析と増加策
- ② 地方支部の現状分析と支部再整備(例えば地域ブロック制)
- ③ 終身会員制への移行

### 3. 準会員への支援

例年に準じた支援については予定通り実施できた。

メディアに出られる可能性のあるイベントを重点的に支援することを目的とした新規事業の「イベント協賛」は、その対象事業の申請がなく、残念ながら実施していない。

なお、準会員への支援事業は次のとおりであった。

#### ① クラブ活動補助

学生・生徒の課外活動を支援することから補助を行った。

#### ② 全学行事補助

大学に対しては、合同体育祭、各キャンパス学園祭、リーダーズキャンプ等に補助を行なった。中学・高等学校に対しては、体育祭、文化祭、文化講演会等に補助を行なった。

#### ③ 卒業式・入学式記念品補助

卒業記念品として、大学には学位記挟および丸筒を、中学・高等学校には卒業証書挟のほかに、学業優秀賞および皆勤賞の副賞を贈呈した。また、入学式記念品として、学園の全新生・生徒に校歌CDを贈呈した。

#### ④ 卒論発表会・就職セミナー等支援

#### ⑤ 準会員向け工学情報(KJ)発行

就職を希望する学生が持参して、2月に開催された就職セミナー(大学と大学同窓会との共催)に臨める様に、就職特集号である「工学情報(KJ)」を12月に発行した。

⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付  
前年を大きく上回り、9名の希望者に奨学金（総額5,080千円）を貸与した。

#### 4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする公益法人である。そのためには、社会全般に対する公益事業を積極的に実施することが望まれ、本年度については次の講演会・見学会等の開催・共催を実施した。

##### (1) 公開講演会関係

学園主催による創立100周年記念公開講演会（東京・大阪）の共催を含め、県支部主催による公開講演会が都合11箇所（別表-3）で開催され、多くの一般参加者を含む講演会であった。

##### (2) 見学会関係

校友会、商工懇話会、電機学校同窓会主催の見学会を含め、県支部主催による見学会が都合10箇所（別表-4）で開催された。

##### (3) 協賛した事業（5件）

- ・ME 講座 全10回開催（学園：産官学交流センター主催）
- ・ロボット工作教室 年10回開催（高等学校主催）
- ・修士論文発表会（工学研究科・情報環境学研究科主催）
- ・未来科学部開設記念シンポジウム（未来科学部主催）
- ・創立100周年記念式典学生イベント（学園：学生支援センター主催）

#### 5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。校友会創立100周年記念事業の実施に当たり各委員会を設置し検討を開始した。

(1) 校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）の計画および立案と推進を開始した。

記念事業の内容は、①記念式典の挙行、②記念祝賀会の挙行、③記念誌（年史）および工学情報特集号の発行、等を想定し、記念式典・祝賀会の

開催期日を平成21年10月17日（土）とし、会場を「ホテルグランドパレス」としてその準備に着手した。

なお、設置した委員会は次のとおりである。

①校友会創立100周年事業計画委員会

②年史編纂小委員会（仮称）

③式典・パーティー小委員会（仮称）

(2) 昨年度に引き続き、記念事業に備えて準備金の積立（2,000千円）を実施した。積立の総額は、平成19年度末で10,000千円となった。

(3) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の検討を開始した。

(4) 転職希望者への情報提供サイトについて学生支援センターの協力のもとに検討を行い、同サイトを平成20年3月に一部オープンした。

#### 6. 学園創立100周年記念事業への協力

(1) 学園創立100周年記念事業寄付金として、校友会より1億円を学園に寄付した。

(2) 卒業生向けの募金活動を校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機協会会長会等を通じ、積極的に協力要請を行った。

なお、卒業生の寄付総額は216,124千円（目標の61.7%）となった。

(3) 学園創立100周年公開講演会（継続）への共催  
昨年引き続き、学園主催による学園創立100周年公開講演会が東京と大阪の2会場で開催され、校友会はそれに協力した。

また、東京では公開講演会の開催に合わせて校友会総会および評議員会を、大阪では関西地区の支部合同総会を開催するとともに、卒業生に対して学園創立100周年記念募金活動への協力を要請した。

#### 7. 学園との連携強化

校友会としては、学園が学部・学科を再編成し教育研究の特色化、個性化をはかり、新しい時代の社会的要請に応えようと努めていることを踏まえて、学園との連携を図り、特に、教職校友会の協力を得て、推薦入試等で学生募集を支援した。

以上

別表-1：支部総会の開催状況

日付	支部名	日付	支部名	日付	支部名
5月26日	埼玉県支部	7月8日	茨城県支部	11月10日	新潟県央電機会
6月2日	神奈川県支部	8月4日	青森県支部	11月17日	宮崎県支部
6月9日	千葉県支部	10月28日	新潟電機会	11月22日	長崎県支部
6月16日	関西支部合同	10月20日	栃木県支部	11月23日	三重県支部
6月17日	岐阜県支部	10月27日	鹿児島県支部	12月8日	山陰支部
6月30日	石川県支部	11月3日	福岡県支部	12月5日	大分県支部
7月7日	福井県支部	11月18日	三重県支部	3月15日	秋田県支部

別表-2：電機会総会の開催状況

日付	電機会名	日付	電機会名	日付	電機会名
4月21日	商工懇話会春季総会	6月23日	教職校友会東京支部	10月29日	東洋熱工業電機会
5月31日	東光電気工事電機会	6月23日	教職校友会埼玉支部	10月31日	大成建設電機会
6月8日	東管神奈川電機会	7月7日	教職校友会神奈川支部	11月30日	関工電機会
6月15日	東管支部総会	7月8日	教職校友会千葉支部	1月19日	電磁電機会
6月15日	日本電波工業電機会	10月5日	商工懇話会秋季総会	2月15日	東管支部東京西電機会
6月22日	東管支部東京南電機会	10月22日	東管支部東京北電機会	3月14日	都電電機会
6月23日	教職校友会	10月26日	東管支部千葉電機会	3月8日	三菱電機会

別表-3：公開講演会の開催状況

日付	演題	講師	主催
5月24日	最近の脳科学に基づく教育のあり方 —早期教育から再生医療・認知症予防法まで—	小谷誠教授	学園主催・校友会共催
5月26日	リフォーム・リサイクルに生かす解体性建築接着工法	富田英雄教授	埼玉県支部
6月2日	聴覚・視覚情報と人間の識別能力	花崎泉教授	神奈川県支部
6月9日	東京電機大学と未来科学部 —未来科学部設立の理念—	大園成夫教授	千葉県支部
6月16日	操作能力熟達に適應するメカトロニクス	古田勝久教授	学園主催・関西支部共催
6月17日	ドラえもんは勉強家 —ロボットのプログラミングに関する興味深い話を優しく解説—	稲垣荘司氏	岐阜県支部
7月7日	個人情報保護法と情報セキュリティー —漏らすな情報、閉ざすな心—	佐々木良一教授	神奈川県支部
7月7日	新しい植物栽培法を求めて	山名昌男教授	福井県支部
7月14日	東京電機大学と未来科学部 —未来科学部設立の理念—	大園成夫教授	茨城県支部
10月20日	工学技術の医療への挑戦	舟久保昭夫教授	栃木県支部
11月10日	シャープが目指すオンリーワン環境経営 —亀山発液晶TV「AQUOS」・太陽光発電・環境の取組について—	森本弘氏	三重県支部

別表-4：見学会の開催状況

日付	場 所	参加者	主 催
4月20日	YKK ツアーズ施設見学会（富山市）	17名	富山県支部
6月4日	家族ぐるみ見学会—恵林寺・善光寺・マンズワイナリー・笹一酒造—	62名	商工懇話会
9月29日	日本科学未来館&東京湾クルーズ	100名	校友会
10月21日	「西山荘・日鉱記念館」見学研修会	52名	電機学校
11月16日	日立製作所大みか事業所見学会	20名	茨城県支部
11月24日	鳩山キャパス見学会	42名	神奈川県支部
11月29日	小江戸川越「歴史のとびらをひらいて」見学研修会	27名	東管支部
2月22日	技術部会見学会—埼玉スタジアム2002および鉄道博物館—	39名	商工懇話会
2月23日	美人おかみの酒蔵見学と水族館をバックヤードからの見学	15名	茨城県支部
3月1日	陸上自衛隊木更津駐屯地第一ヘリコプター部隊と航空資料館	27名	千葉県支部

(評議員会・総会共通 第2号議案)

## 平成19年度決算承認の件並びに監査報告

## 平成19年度収支計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 一 般 会 計

(単位：円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>1. 会 費 収 入</b>	<b>72,000,000</b>	<b>71,197,400</b>	<b>802,600</b>	<b>1. 事 業 費</b>	<b>67,120,000</b>	<b>62,417,970</b>	<b>4,702,030</b>
通常会費収入	10,000,000	9,197,400	802,600	会報発行費	26,920,000	28,430,494	△1,510,494
予納会費収入	62,000,000	62,000,000	0	名簿管理費	7,250,000	6,597,057	652,943
<b>2. 運 用 財 産 収 入</b>	<b>10,200,000</b>	<b>10,606,165</b>	<b>△406,165</b>	Web情報発信サービス	2,380,000	444,675	1,935,325
受取利息配当金収入	200,000	606,165	△406,165	支部援助費	16,050,000	12,960,471	3,089,529
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0	その他事業費	3,500,000	2,197,273	1,302,727
<b>3. 寄 付 金 収 入</b>	<b>4,150,000</b>	<b>5,251,180</b>	<b>△1,101,180</b>	同窓会援助費	11,020,000	11,788,000	△768,000
広告寄付金収入	3,500,000	4,593,000	△1,093,000	<b>2. 管 理 費</b>	<b>25,280,000</b>	<b>22,581,921</b>	<b>2,698,079</b>
その他寄付金収入	650,000	658,180	△8,180	給与手当	6,300,000	6,168,505	131,495
<b>4. 雑 収 入</b>	<b>510,000</b>	<b>774,478</b>	<b>△264,478</b>	委託費	5,900,000	4,866,298	1,033,702
見学・講演会収入	500,000	310,000	190,000	慶弔費	300,000	190,250	109,750
その他収入	10,000	464,478	△454,478	旅費交通費	150,000	31,050	118,950
<b>5. 特 定 資 産 取 崩 収 入</b>	<b>6,000,000</b>	<b>6,000,000</b>	<b>0</b>	会議費	4,450,000	4,271,187	178,813
事業積立金特定資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0	通信運搬費	2,400,000	2,805,764	△405,764
学園100周年積立取崩収入	4,000,000	4,000,000	0	印刷製本費	200,000	99,540	100,460
<b>6. 準 会 員 会 計 繰 入 収 入</b>	<b>111,000,000</b>	<b>111,000,000</b>	<b>0</b>	賃借料	3,280,000	2,832,480	447,520
準会員会計繰入収入	111,000,000	111,000,000	0	消耗品費	1,700,000	838,901	861,099
<b>当 期 収 入 合 計</b>	<b>203,860,000</b>	<b>204,829,223</b>	<b>△969,223</b>	雑費	600,000	477,946	122,054
<b>前 期 繰 越 収 支 差 額</b>	<b>34,622,640</b>	<b>34,622,640</b>	<b>0</b>	<b>3. 特 定 資 産 繰 入 支 出</b>	<b>22,000,000</b>	<b>22,000,000</b>	<b>0</b>
<b>収 入 合 計</b>	<b>238,482,640</b>	<b>239,451,863</b>	<b>△969,223</b>	校友会100周年積立支出	2,000,000	2,000,000	0
				事業積立特定資産繰入支出	15,000,000	15,000,000	0
				通常会員特定資産繰入支出	5,000,000	5,000,000	0
				<b>4. 寄 付 金 支 出</b>	<b>100,000,000</b>	<b>100,000,000</b>	<b>0</b>
				学園創立100周年寄付金支出	100,000,000	100,000,000	0
				<b>5. 予 備 費</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	<b>2,000,000</b>
				<b>当 期 支 出 合 計</b>	<b>216,400,000</b>	<b>206,999,891</b>	<b>9,400,109</b>
				<b>当 期 収 支 差 額</b>	<b>△12,540,000</b>	<b>△2,170,668</b>	<b>△10,369,332</b>
				<b>次 期 繰 越 収 支 差 額</b>	<b>22,082,640</b>	<b>32,451,972</b>	<b>△10,369,332</b>

※その他収入…学園からの工学情報一部負担金

## 学校預託金の内訳

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	期首残高	増 加	減 少	期末残高
準会員学校預託金	238,806,400	68,568,000	181,236,000	126,138,400
正会員学校預託金	488,380,656	64,236,000	62,000,000	490,616,656

(第2号議案関連)

## 貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

### 一 般 会 計

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	34,747,215		
未収入金	233,000		
流動資産合計		34,980,215	
<b>2. 固定資産</b>			
基本財産			
金銭信託預金	2,000,000		
基本財産合計	2,000,000		
その他の固定資産			
器具備品	4,914,368		
器具備品減価償却累計額	△4,461,888		
準会員学校預託金	126,138,400		
正会員学校預託金	490,616,656		
事業積立特定資産	41,994,000		
通常会員会費特定資産	32,200,000		
校友会100周年積立金	10,000,000		
有価証券	2,430,830		
その他の固定資産合計	703,832,366		
固定資産合計		705,832,366	
<b>資産合計</b>			740,812,581
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払費用	2,423,243		
源泉預り金	105,000		
流動負債合計		2,528,243	
<b>2. 固定負債</b>			
準会員前受金	126,138,400		
正会員前受金	490,616,656		
固定負債合計		616,755,056	
<b>負債合計</b>			619,283,299
<b>III. 正味財産の部</b>			
正味財産			121,529,282
(うち基本金)			(2,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			(13,710,491)
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>740,812,581</b>

## (第2号議案関連)

## 正味財産増減計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：円)

## 一般会計

増加原因の部	
科目	金額
<b>会費収入</b>	<b>71,197,400</b>
通常会員会費収入	9,197,400
予納会員会費収入	62,000,000
<b>運用財産収入</b>	<b>10,606,165</b>
受取利息配当金収入	606,165
預託金運用収入	10,000,000
<b>寄付金収入</b>	<b>5,251,180</b>
広告寄付金収入	4,593,000
その他寄付金収入	658,180
<b>雑収入</b>	<b>774,478</b>
見学・講演会収入	310,000
その他収入	464,478
<b>準会員会計繰入収入</b>	<b>111,000,000</b>
準会員会計繰入収入	111,000,000
<b>増加原因の部合計</b>	<b>198,829,223</b>

減少原因の部	
科目	金額
<b>事業費</b>	<b>62,417,970</b>
会報発行費	28,430,494
名簿管理費	6,597,057
Web情報発信サービス	444,675
支部援助費	12,960,471
その他事業費	2,197,273
同窓会援助費	11,788,000
<b>管理費</b>	<b>22,581,921</b>
給与手当	6,168,505
委託費	4,866,298
慶弔費	190,250
旅費交通費	31,050
会議費	4,271,187
通信運搬費	2,805,764
印刷製本費	99,540
賃借料	2,832,480
消耗品費	838,901
雑費	477,946
<b>減価償却額</b>	<b>118,841</b>
<b>寄付金支出</b>	<b>100,000,000</b>
<b>減少原因の部合計</b>	<b>185,118,732</b>
<b>当期正味財産増加額</b>	<b>13,710,491</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>107,818,791</b>
<b>期末正味財産合計額</b>	<b>121,529,282</b>

## 財産目録

(平成20年3月31日現在)

## 一般会計

(単位：円)

資産の部	
科目	金額
<b>I 基本財産</b>	<b>2,000,000</b>
住友信託銀行貸付信託	2,000,000
<b>II 運用財産</b>	<b>738,812,581</b>
<b>1. 流動資産</b>	<b>34,980,215</b>
(1)現金預金	34,747,215
(2)未収入金	233,000
<b>2. 固定資産</b>	<b>703,832,366</b>
(1)学校預託金	616,755,056
準会員学校預託金	126,138,400
正会員学校預託金	490,616,656
(2)事業積立特定資産	41,994,000
(3)通常会員会費特定資産	32,200,000
(4)校友会100周年積立金	10,000,000
(5)器具備品	452,480
(6)有価証券	2,430,830
<b>資産合計</b>	<b>740,812,581</b>

負債の部	
科目	金額
<b>I 流動負債</b>	<b>2,528,243</b>
(1)未払費用	2,423,243
(2)源泉預り金	105,000
<b>II 固定負債</b>	<b>616,755,056</b>
(1)学校預託金	616,755,056
準会員前受金	126,138,400
正会員前受金	490,616,656
<b>負債合計</b>	<b>619,283,299</b>
<b>正味財産</b>	<b>121,529,282</b>
<b>負債正味財産合計</b>	<b>740,812,581</b>

## 監査結果

1. 当法人の財産管理は正確である。
2. 理事の業務執行は適法である。

平成20年4月17日

監事 窪田輝巳 ㊞  
 峯澤意卓 ㊞  
 阿久津功 ㊞

## (第2号議案関連)

## 平成19年度収支計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 準会員事業基金

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 運用財産収入	10,500,000	11,032,404	△532,404
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,912,496	△912,496
3. 預託金繰入収入	6,000,000	6,000,000	0
4. 準会員預託金取崩収入	111,000,000	111,000,000	0
当期収入合計	131,500,000	132,944,900	△1,444,900
前期繰越収支差額	15,432,541	15,432,541	0
収入合計	146,932,541	148,377,441	△1,444,900

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
1. 事業費	15,500,000	12,238,389	3,261,611
クラブ活動補助費	4,350,000	3,882,608	467,392
全学行事補助費	4,350,000	4,082,281	267,719
卒入学記念品費	2,500,000	2,507,620	△7,620
卒論発表会・就職セミナー	300,000	75,000	225,000
工学情報分担金	2,000,000	1,690,880	309,120
イベント協賛援助金	2,000,000	0	2,000,000
2. 管理費	100,000	66,963	33,037
雑費	100,000	66,963	33,037
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	5,289,982	210,018
4. 特定資産繰入支出	0	83,538	△83,538
5. 一般会計繰入支出	111,000,000	111,000,000	0
6. 予備費	1,400,000	0	1,400,000
当期支出合計	133,500,000	128,678,872	4,821,128
当期収支差額	△2,000,000	4,266,028	△6,266,028
次期繰越収支差額	13,432,541	19,698,569	△6,266,028

## 貸借対照表

(平成20年3月31日現在)

## 正味財産増減計算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 準会員事業基金

(単位：円)

科 目	金 額
<b>I. 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	20,690,819
流動資産合計	20,690,819
2. 固定資産	
その他の固定資産	
奨学貸付金	20,434,532
準会員事業基金	84,692,254
その他の固定資産合計	105,126,786
固定資産合計	105,126,786
資産合計	125,817,605
<b>II. 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払費用	992,250
流動負債合計	992,250
2. 固定負債	0
負債合計	992,250
<b>III. 正味財産の部</b>	
正味財産	124,825,355
(うち当期正味財産増加額)	(4,727,052)
負債及び正味財産合計	125,817,605

## 準会員事業基金

(単位：円)

科 目	金 額
<b>I. 増加原因の部</b>	
運用財産収入	11,032,404
基金利息収入	1,032,404
預託金運用収入	10,000,000
預託金繰入収入	6,000,000
準会員預託金取崩収入	111,000,000
増加原因の部合計	128,032,404
<b>II. 減少原因の部</b>	
事業費	12,238,389
クラブ活動補助費	3,882,608
全学行事補助費	4,082,281
卒入学記念品費	2,507,620
卒論発表会・就職セミナー	75,000
工学情報分担金	1,690,880
管理費	66,963
雑費	66,963
一般会計繰入支出	111,000,000
減少原因の部合計	123,305,352
当期正味財産増加額	4,727,052
前期繰越正味財産額	120,098,303
期末正味財産合計額	124,825,355

(第2号議案関連)

財産目録

(平成20年3月31日現在)

準会員事業基金

(単位：円)

資 産 の 部	
科 目	金 額
I 運用財産	
1. 流動資産	20,690,819
(1)現金預金	20,690,819
2. その他の固定資産	105,126,786
(1)奨学金貸付 61名	20,434,532
(2)準会員事業基金	84,692,254
資 産 合 計	125,817,605

負 債 の 部	
科 目	金 額
I 流動負債	
未払費用	992,250
正 味 財 産	124,825,355
負 債 正 味 財 産 合 計	125,817,605

(評議員会・総会共通 第3号議案)

平成20年度事業計画(案)

学園は、平成19年9月11日に学園創立100周年を迎えた。創立100周年に際して、「学園創立100周年宣言」により“東京電機大学人”としての使命・目標が示された。

社団法人東京電機大学校友会(以下「校友会」という。)は学園に対する最大の支援組織として、学園創立100周年宣言の「東京電機大学人の基本姿勢」を尊重し、学園の次の100年に向けての指針を最大限支援するものとする。

とりわけ平成20年度は、「校友会白寿の年」と位置付け、電機学校同窓会を起源とする「校友会創立100周年記念事業」が、学園の新たなる100年への出航に併走する機会とし、国の公益法人制度改革に伴う新法人への移行を睨み、今後における確固たる校友会を構築することを目的として、本事業計画を策定する。

1. 校友会員に対するサービスの充実

校友会員に対する各種サービスをこれまで以上に検証し、会員にとって時代に即した更なる魅力あるサービスが展開できるよう鋭意検討し実現を目指す。

なお、校友会員に対するサービスの基礎となる通常会員の増強について、引き続き会員拡張に努めるとともに財政の健全化を図る。

(1) 生涯使用できる転送メールアドレス提供のさらなる検討

平成19年度に検討を開始した「生涯使用できる

転送メールアドレス提供」を具現化すべくさらに検討を深める。

メールアドレスの提供そのものは技術的に可能であることまでは判明している。しかしながら実現するには多額の費用を要し、継続的な検討が必要である。

また、後述にあるとおり、平成19年度末に提供を開始した「卒業生バックアップセンター」の「校友との連絡を取りやすくする(E-mail利用)機能(同窓会コミュニティ支援)」との整合性を検討したうえで、転送メールアドレスのシステムを単独で構築するかどうかを含め、再検討する必要がある。

なお、この事業を「校友会100周年記念事業」と位置づけているが、併せて、学園の創立100周年記念事業である「卒業生・企業との連携強化の推進事業」の一つに位置づけるよう学園に申し入れる。

(2) 転職希望者への情報提供サイトの活用推進  
転職希望者への情報提供サイトとして「卒業生バックアップセンター(就転職支援サイト)」を平成20年3月に開設した。

登録企業の開拓については学生支援センター(キャリア支援・就職担当)の協力を仰ぎ、また、卒業生の会員開拓には工学情報・冬号にて広報活動を始めた。

今後、企業ならびに卒業生の会員拡大を目指し、さらなるツールを開拓していく。

また、「卒業生バックアップセンター(就転職支援サイト)」にいわゆる「卒業生の広場(同窓会コミュニティ支援)」の機能を付加しており、校

友会員の拡大に繋がることが期待できる。

また、学園と調整し、証明書発行申し込みと手数料決済を、WEBで簡単に行える仕組みを構築し実現したい。

### (3) 会員への斡旋事業

例年同様、次の斡旋事業を展開する。

- ① 学園図書館の利用斡旋
- ② 学術図書雑誌の購入斡旋
- ③ 法律、特許相談の斡旋
- ④ 校友会協定施設の利用斡旋および補助
- ⑤ 校友会員限定の特別割引物品の斡旋

なお、会員が出張等で上京の折、手軽に廉価で利用できるホテルを斡旋できるような新システムを構築する事業展開を検討する。

### (4) ホームページからの加入促進の実施

昨年度 JCB・AMEX・DC・UFJ・NICOS・VISA・MASTER の加盟店となった。

本年度は、平成20年6月を目処に会費のWEB決済(入会)を可能とするシステムを構築し提供を開始する。

併せて、コンビニ決済についてもさらなる検討を加える。

なお、WEB上での「コンビニ決済」とは、従来実施している「コンビニで会費を支払う仕組み」とは異なり、会員が自宅等で振込用紙の出力もしくはコンビニで会費を支払う手続きを行えるようにするものである。

### (5) 校友会への加入案内の追加送付

平成18年12月、平成19年8月の2ヵ年にわたり特定卒業年度の会費切れの卒業生(約20,000人)を対象に加入案内を追加して送付し、結果として、通常会員の増加に繋がったことから、今後、この事業を定常業務と位置づける。

## 2. 校友会活動の活性化

校友会員向けの活動として、例年同様次の事業を行う。

### (1) 支部活動の活性化

地方および県支部総会の開催状況は、学園創立100周年の前年度に当たる平成18年度は、広報の意味合いを兼ね備えた学園主催による公開講演会が全国6会場で開催され、校友会はこれに共催し、併せて、地方および県支部総会を開催したことか

ら例年を大幅に超える28箇所であった。一方、平成19年度は学園創立100周年の年に当たり全国展開する学園主催によるイベントがなかったことから平年並みの21箇所での開催状況であった。

なお、過去5年間における地方および県支部総会の開催状況は平均で2.8回であり、開催頻度の低い支部を対象に、総会開催について積極的な働きかけを行う。

### (2) 同窓会活動への支援

大学同窓会、中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会の活動に対し、例年同様に、支援ならびに協力をする。

### (3) 職域電機会の活性化と新規設立の誘導

2月に開催された就職セミナー(大学と大学同窓会との共催)への参加企業は約240社あり、これらの企業を対象に職域電機会設立に関するアンケートを昨年に引き続きお願いした。今後、積極的に設立を要請し、既存の職域電機会の拡張に結び付けたい。そのため、些少ではあるが事務経費的補助について検討する。

職域電機会への積極的な活動を支援することは、県支部との緊密な連携および会員相互の親睦を深めることにも繋がると理解する。

### (4) 留学生OBとの連携

昨年度に引き続き、これを通じて、留学生が校友会に対する関心と理解を深めると同時に、海外支部の拠点作りの準備と学園への帰属意識の高揚を図りたい。

### (5) 校友会組織の基盤に関する検討

平成19年度の全国支部長会に寄せられた意見についてキーワードを元に集計しその分析を始めたところであり、県支部のブロック化をはじめとする校友会組織の基盤に関する事項について引き続き検討を進める。

なお、近隣の県支部合同役員会や合同支部総会等が自然発生的に開催されていることが随所で見受けられ、今後、必要に応じて支部長へのヒヤリングまたはアンケート調査を計画したい。

検討事項は次のとおりである。

- ① 通常会員会費収入の現状分析と増加策
- ② 地方支部の現状分析と支部再整備
- ③ 終身会員制への移行

### 3. 準会員への支援

校友会では、例年、準会員である学園の学生・生徒に対して数多くの支援を行っており、今後もその体制は継続していく所存である。

とりわけ、平成19年度に新設したメディアに出られる可能性のあるイベントを重点的に支援する「イベント協賛援助」に傾注したい。

準会員への支援事業は次のとおりである。

- ①クラブ活動補助
- ②全学行事補助
- ③卒業式・入学式記念品補助
- ④卒論発表会・就職セミナー等支援
- ⑤準会員向け工学情報（KJ）発行
- ⑥東京電機大学校友会・新電気奨学金貸付
- ⑦イベント協賛援助

NHK ロボットコンテスト等メディアを介して学園の広報活動に繋がるようなイベントを支援する。

### 4. 公益法人としての活動

本校友会は、学園の発展に協力すると同時に、会員相互の親睦と研修を図る一方で、社団法人として社会一般への教育、学術、文化発展に寄与することを目的とする公益法人である。

ついては、公益事業を積極的に実施するため、以下の事業を実施する。

- ①公開講演会の主催、共催、後援（地方会場での開催を含む）
- ②見学会の主催、共催、後援
- ③学園主催の公開講座（ME 講座、マセマティカ講座、ロボット製作講座等）の協賛
- ④大学院博士・修士論文発表会協賛
- ⑤その他事業への支援

### 5. 校友会創立100周年記念事業

校友会は、明治42年の発足以来、平成21年に創立100周年を迎える。その記念事業として以下の事業を推進する。

- (1) 校友会創立100周年記念事業・行事（年史、祝賀会、式典等）の検討と推進
- (2) 昨年度に引き続き、記念事業に係る準備金の積立て
- (3) 生涯使用できる転送メールアドレス提供の

さらなる検討

- (4) 転職希望者への情報提供サイトの積極的な広報
- (5) 平成21年度からの実施に向けて工学情報のA4判化への検討
- (6) 公益法人制度改革に伴う移行手続きの検討と推進ならびに一般会計と準会員事業基金会計の一本化への検討および新会計基準への移行の推進
- (7) その他新規事業の検討

### 6. 学園創立100周年記念事業への協力

学園は、明治40年9月に電機学校として設立され、100周年を祝う記念行事として、平成19年9月11日に創立100周年記念式典・祝賀会等を盛大に挙行了。また、神田キャンパス再整備計画も100周年記念館を建設する計画で遂行しつつある。学園における記念事業募金も期間が延長されたことから、今後とも、学園創立100周年記念のバックアップとして、下記の事業を行うとともに、卒業生の寄付金額について、目標達成に協力する。

- (1) 学園創立100周年記念事業に対し、学園創立100周年記念事業の目玉事業である神田キャンパス再整備計画（100周年記念館の建設等）が遂行できるように、卒業生向けの募金活動を校友会総会、支部総会、全国支部長会や職域電機会会長会等を通じ、引き続き積極的に協力要請を行う。
- (2) 学園創立100周年公開講演会（継続）への共催  
昨年、学園主催による学園創立100周年公開講演会を東京と大阪の2会場で開催し校友会はこれを共催した。学園では、平成20年度も同程度の開催を予定しており、校友会はこれに協力する。

また、公開講演会の開催に合わせて地方および県支部総会を開催するとともに、卒業生および準会員のご父母に対し学園創立100周年記念募金活動への協力を要請する。

### 7. 学園との連携強化

学園発展のために、学園の様々な活動に対して側面からバックアップする所存であるが、とりわけ学生募集の支援に力を入れたい。

進学適齢人口の減少は急速に進行し、学園にお

いても学部・学科を再編成し教育研究の特色化、個性化をはかり、新しい時代の社会的要請に応えようと努めている。

校友会としては、そのような現状を踏まえて、

学園とのさらなる連携を図り、教職校友会ならびに地方支部への広報活動を通じ、推薦入試等で学生募集を支援する。

以上

(評議員会・総会共通 第4号議案)

## 平成20年度予算(案)

### 平成20年度一般会計収支予算書(案)

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
<b>1. 会費収入</b>	<b>77,000,000</b>	<b>72,000,000</b>	<b>5,000,000</b>
通常会員会費収入	14,000,000	10,000,000	4,000,000
予納会員会費収入	63,000,000	62,000,000	1,000,000
<b>2. 運用財産収入</b>	<b>10,400,000</b>	<b>10,200,000</b>	<b>200,000</b>
受取利息配当金収入	400,000	200,000	200,000
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
<b>3. 寄付金収入</b>	<b>4,650,000</b>	<b>4,150,000</b>	<b>500,000</b>
広告寄付金収入	4,000,000	3,500,000	500,000
その他収入	650,000	650,000	0
<b>4. 雑収入</b>	<b>510,000</b>	<b>510,000</b>	<b>0</b>
見学・講演会収入	500,000	500,000	0
その他収入	10,000	10,000	0
<b>5. 特定資産取崩収入</b>	<b>0</b>	<b>6,000,000</b>	<b>△6,000,000</b>
事業積立金特定資産取崩収入	0	2,000,000	△2,000,000
学園100周年積立金取崩収入	0	4,000,000	△4,000,000
<b>6. 準会員会計繰入収入</b>	<b>0</b>	<b>111,000,000</b>	<b>△111,000,000</b>
準会員会計繰入収入	0	111,000,000	△111,000,000
<b>当期収入合計</b>	<b>92,560,000</b>	<b>203,860,000</b>	<b>△111,300,000</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>32,451,972</b>	<b>34,622,640</b>	<b>△2,170,668</b>
<b>収入合計</b>	<b>125,011,972</b>	<b>238,482,640</b>	<b>△113,470,668</b>

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
<b>1. 事業費</b>	<b>67,105,000</b>	<b>67,120,000</b>	<b>△15,000</b>
会報発行費	28,460,000	26,920,000	1,540,000
名簿管理費	5,685,000	7,250,000	△1,565,000
Web情報発信サービス	2,680,000	2,380,000	300,000
支部援助費	15,500,000	16,050,000	△550,000
その他事業費	3,500,000	3,500,000	0
同窓会援助費	11,280,000	11,020,000	260,000
<b>2. 管理費</b>	<b>30,568,000</b>	<b>25,280,000</b>	<b>5,288,000</b>
給料手当	6,400,000	6,300,000	100,000
委託費	9,500,000	5,900,000	3,600,000
慶弔費	400,000	300,000	100,000
旅費交通費	150,000	150,000	0
会議費	6,330,000	4,450,000	1,880,000
通信運搬費	3,000,000	2,400,000	600,000
印刷製本費	200,000	200,000	0
賃借料	1,488,000	3,280,000	△1,792,000
消耗品費	2,300,000	1,700,000	600,000
雑費	800,000	600,000	200,000
<b>3. 特定資産繰入支出</b>	<b>2,000,000</b>	<b>22,000,000</b>	<b>△20,000,000</b>
事業積立特定資産繰入支出	0	15,000,000	△15,000,000
通常会員会費特定資産繰入支出	0	5,000,000	△5,000,000
校友会100周年積立金繰入支出	2,000,000	2,000,000	0
<b>4. 寄付金支出</b>	<b>0</b>	<b>100,000,000</b>	<b>△100,000,000</b>
学園創立100周年寄付金支出	0	100,000,000	△100,000,000
<b>5. 予備費</b>	<b>2,000,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>
<b>当期支出合計</b>	<b>101,673,000</b>	<b>216,400,000</b>	<b>△114,727,000</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>△9,113,000</b>	<b>△12,540,000</b>	<b>3,427,000</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>23,338,972</b>	<b>22,082,640</b>	<b>1,256,332</b>
<b>支出合計</b>	<b>125,011,972</b>	<b>238,482,640</b>	<b>△113,470,668</b>

### 学校預託金の内訳

(平成20年3月末日参照)

	期首残高	増加	減少	期末残高
準会員学校預託金	126,138,400	65,000,000	68,000,000	123,138,400
正会員学校預託金	490,616,656	62,000,000	63,000,000	489,616,656

(第4号議案関連)

平成20年度準会員事業基金収支予算書(案)

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:円)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 運用財産収入	11,000,000	10,500,000	500,000
基金利息収入	1,000,000	500,000	500,000
預託金運用収入	10,000,000	10,000,000	0
2. 奨学金返済収入	4,000,000	4,000,000	0
3. 預託金繰入収入	6,000,000	6,000,000	0
4. 準会員預託金取崩収入	0	111,000,000	△111,000,000
当期収入合計	21,000,000	131,500,000	△110,500,000
前期繰越収支差額	19,698,569	15,432,541	4,266,028
収入合計	40,698,569	146,932,541	△106,233,972

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	15,800,000	15,500,000	300,000
クラブ活動補助費	4,350,000	4,350,000	0
全学行事補助費	4,350,000	4,350,000	0
卒入学記念品費	2,800,000	2,500,000	300,000
卒論発表会・就職セミナー等補助	300,000	300,000	0
工学情報分担金	2,000,000	2,000,000	0
イベント協賛援助費	2,000,000	2,000,000	0
2. 管理費	100,000	100,000	0
雑 費	100,000	100,000	0
3. 奨学金貸付支出	5,500,000	5,500,000	0
4. 特定資産繰入支出	10,100,000	0	10,100,000
5. 一般会計繰入支出	0	111,000,000	△111,000,000
6. 予備費	1,400,000	1,400,000	0
当期支出合計	32,900,000	133,500,000	△100,600,000
当期収支差額	△11,900,000	△2,000,000	△9,900,000
次期繰越収支差額	7,798,569	13,432,541	△5,633,972
支出合計	40,698,569	146,932,541	△106,233,972

(評議員会 第5号議案)

理事・監事の候補者推薦について

【定款第13条第1項第一号理事】

1. 候補者の推薦は、定款施行細則第3条の定めるところにより以下のとおり

- ①同窓会並びに支部・電機会
- ②理事会

2. 推薦状況

		①同窓会 並びに電機会	②理事会	備考
推薦母体数		91件	1件	
回答数	総 数	59件	1件	理事10名, 監事1名
	候補者指名	8件	1件	
	理事会一任	53件	……	

3. 第626回定例理事会(4月22日開催)決定事項  
候補者が監事改選については定数どおり1名であるが、理事改選については定数を上回ったため慎重審議の結果、評議員会には右記のとおり提案することを決定した。

評議員会における理事・監事の選出について

- ①候補者各位の心情を配慮し、氏名は公表せず人数のみとする。
- ②理事・監事選考委員会を設置し、当委員会に選考を委ね、その結果を評議員会に報告し承認を得る。
- ③理事・監事選考委員会の構成は、次のとおりとする。各校(大学・短大、中学・高等学校、電機学校)卒業生より各々2名、並びに議長、理事長、常務理事の合計9名とする。
- ④各校卒業者の選考委員は事前に同窓会を通じて選出を依頼し、評議員会において承認を得る。

特別会員から選出される理事(役職理事)の推薦について

1. 平成20年4月22日開催 第626回定例理事会において推薦された理事

【定款第13条第1項第二号理事】

古城 仁(中学高等学校生活指導部長)

## 常務理事の推薦について

1. 平成20年4月22日開催 第626回定例理事会において推薦された理事

### 【定款第13条第1項第三号理事】

稲毛 通男((社)東京電機大学校友会事務局長)

## 会務報告(概要)

### 1. 定例理事会

(議事録:「工学情報」に順次掲載済)

第618回・平成19年4月24日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
- 議題2. 平成18年度決算の承認並びに監査報告について
- 議題3. 平成18年度事業報告の承認について
- 議題4. 第117回評議員会・第62回総会について
- 議題5. 平成19年度理事・監事候補者の推薦及び就任日について
- 議題6. 平成19年度予算の一部変更について

第619回・平成19年6月1日(金)

- 議題1. 正・副理事長の選出について
  - 議題2. 委員会並びに業務分担について
- 第620回・平成19年6月19日(火)
- 議題1. 前々回議事録の承認
  - 議題2. 前回議事録の承認
  - 議題3. 平成19年度 校友会委員会委員の委嘱について
  - 議題4. 理事・委員会の職務分掌について
  - 議題5. 平成19年度 事業計画の実行担当について
  - 議題6. 平成19年度 学術振興基金予算について
  - 議題7. 理事会へのオブザーバー参加について

- 報告1. 学園創立100周年記念事業の推進について
- 報告2. 学園創立100周年記念式典・祝賀会招待者(校友会推薦分)

第621回・平成19年7月10日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
  - 議題2. 第12回全国支部長会開催の件
  - 議題3. 未来科学部開設記念シンポジウムへの支援について
  - 議題4. 平成19年度校友会主催見学研修会について
- 報告1. 情報環境学部 AO 入試に係る生徒の紹介

について

- 報告2. 会費切れ者への入会案内の送付について
  - 報告3. 県支部総会用記念品について
- 第622回・平成19年9月25日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
  - 議題2. 第12回全国支部長会の対応について
  - 議題3. 職域電機会の新規設立について
- 報告1. 年史の発行について
  - 報告2. 転職希望者への情報提供サイトの構築について

第623回・平成19年10月23日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
  - 議題2. 平成19年度上半期収支状況並びに監査報告
  - 議題3. 校友会監事の職務分掌について
  - 議題4. 年末役員懇親会の実施について
- 報告1. 東京電機大学新年互礼会の実施内容の見直しについて
  - 報告2. 校友会創立100周年事業計画委員会報告
- 第624回・平成19年12月4日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
  - 議題2. 校友会年間会議スケジュールについて
  - 議題3. 職域電機会長会開催について
  - 議題4. 事業計画立案依頼について
- 報告1. 年末役員懇談会の実施について
  - 報告2. 転職支援サイト構築に関わる告知文書の送付について

第625回・平成20年3月4日(火)

- 議題1. 前回議事録の承認
  - 議題2. 平成20年度事業計画案について
  - 議題3. 平成20年度予算案について
  - 議題4. 第118回評議員会・第63回総会開催について
- 報告1. 卒業生バックアップセンター開設について
  - 報告2. 校友会システムのリプレースについて

### 2. 評議員会・総会(議事録:「工学情報」に掲載済)

第117回 評議員会 平成19年5月19日(土)

第62回 総会 平成19年5月19日(土)

### 3. 各委員会(省略)

## 各校卒業者（住所判明者）並びに校友会員数

（平成20年3月31日現在）

	電機学校	中学・高校	大学・短大	合計
住所判明者数	5,217	11,434	62,915	79,566
会 員 数	978	2,399	26,784	30,161

（備考）会員数＝会員台帳による数。最終卒業をもって正会員登録。

## 地 方 別 内 訳

（平成20年3月31日現在）

県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数	県 名	住所判明者数	会員数
北海道	490	184	福井県	108	46	山口県	156	56
青森県	192	85	山梨県	738	310	徳島県	128	43
岩手県	241	88	長野県	1,468	497	香川県	158	60
宮城県	434	185	岐阜県	262	77	愛媛県	141	56
秋田県	219	77	静岡県	2,112	738	高知県	117	49
山形県	232	102	愛知県	838	281	福岡県	348	145
福島県	611	276	三重県	248	87	佐賀県	67	21
茨城県	2,617	1,103	滋賀県	86	30	長崎県	125	41
栃木県	1,515	658	京都府	125	56	熊本県	108	40
群馬県	1,537	675	大阪府	280	103	大分県	129	64
埼玉県	16,620	6,803	兵庫県	319	101	宮崎県	120	38
千葉県	9,548	3,828	奈良県	71	20	鹿児島県	140	48
東京都	23,993	8,913	和歌山県	65	15	沖縄県	139	51
神奈川県	10,047	3,213	鳥取県	53	24	その他	133	18
新潟県	922	341	島根県	59	22			
富山県	698	212	岡山県	160	42	合 計	79,566	30,161
石川県	285	92	広島県	364	147			

平成19年度開催 総会・クラス会

開催日	名 称	開催日	名 称
19. 4. 7	大学同窓会総会	10. 21	工専 S 24 電気科卒クラス会
14	電機学校同窓会総会	22	東管支部東京北電機会総会
〃	大学 S 39 工学部第一部電子工学科卒クラス会	26	東管支部千葉電機会総会
17	高校 S 29 全日制電気科電気計測課程卒クラス会	〃	工専 S 26 電気科卒クラス会
20	高校 S 35 全日制電気科電気計測課程卒クラス会	27	鹿児島県支部総会
21	商工懇話会総会	29	東洋熱工業電機会総会
〃	高校 S 32 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	31	大成建設電機会総会
5. 5	高校 H 11全日制電子電気科1組卒クラス会	11. 2	高校 S 26 全日制電気科電力課程1組卒クラス会
12	中学・高等学校同窓会総会	3	福岡県支部総会
〃	大学 S 36 工学部第一部電気工学科, 電気通信工学科, 電子工学科卒合同クラス会	〃	大学理工学部建設工学科, 建設環境工学科卒縦の会(鳩草会)
19	校友会第117回評議員会・第62回総会	〃	大学理工学部電子情報工学科卒縦の会(APPLES)
〃	高校 S 26 定時制電気科電力課程2組卒クラス会	4	二工 S 24 第一本科電気科3組卒クラス会
20	高校 S 27 定時制電気科電気機器課程卒クラス会	10	新潟県中央電機会総会
24	大学 S 31 工学部第一部電気工学科卒クラス会	〃	三重県支部総会
26	埼玉県支部総会	〃	高校 S 37 定時制電気科電力課程卒クラス会
〃	大学 S 40 工学部第一部電子工学科卒クラス会	11	大学 S 30 工学部第一部電気工学科, 電気通信工学科卒合同クラス会
〃	高校 S 42 全日制電子科2組卒クラス会	17	宮崎県支部総会
31	東光電気工事電機会総会	〃	短大 S 33 電気科第二部卒クラス会
6. 2	神奈川支部総会	20	一工 S 18 第一本科電気科卒クラス会
〃	短大卒業生の会(縦の会)総会	22	川北電気工業電機会総会
8	東管神奈川電機会総会	〃	長崎県支部総会
〃	一工 S 23 第一本科電気科卒クラス会	23	佐賀県支部総会
9	千葉県支部総会	〃	大学 S 34 短期大学電気科第二部卒クラス会
〃	大学 S 47 工学部第一部電気工学科卒クラス会	24	高校 S 35 全日制電気科電力課程2組卒クラス会
〃	工学部建築学科縦の会(ABUの会)	30	関東電機会総会
〃	大学 S 50 建築学科卒クラス会	〃	一工 S 20 第二本科電気科卒クラス会
15	東管支部総会	12. 1	大学 S 52 工学部第一部電気工学科卒クラス会
〃	日本電波工業電機会総会	〃	大学 S 32 工学部第一部電気工学科卒クラス会
16	関西支部総会	8	山陰支部総会
17	岐阜県支部総会	〃	大学 H 18 工学研究情報メディア学専攻, 工学部第一部情報メディア学科卒合同クラス会
22	東管支部東京南電機会総会	13	高校 S 41 定時制電気科電力課程1組卒クラス会
23	教職校友会総会	15	大分県支部総会
28	大学 S 42 工学部第一部応用理化学科卒クラス会	〃	大学 S 41 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
30	石川県支部総会	17	大学 S 40 工学部第一部電気通信工学科卒クラス会
〃	大学工学部第二部電気通信工学科卒クラス会	20. 1. 19	電磁電機会総会
7. 7	福井県支部総会	26	大学 S 38 工学部第二部電気工学科, S 35 短大第二部電気科卒合同クラス会
〃	教職校友会神奈川県支部総会	2. 3	高校 S 41 全日制電子科1組卒クラス会
8	教職校友会千葉県支部総会	9	高校 S 41 全日制電子科2組卒クラス会
14	茨城県支部総会	〃	高校 S 27 全日制電気科電力課程3組卒クラス会
21	工専 S 25 電気科卒, 大学 S 27 工学部第一部電気工学科卒合同クラス会	〃	高校 S 34 全日制電気科電力課程1組卒クラス会
8. 4	青森県支部総会	15	東管支部東京西電機会総会
8	大学 S 29 工学部第二部電気工学科卒クラス会	16	大学 S 45 工学部第一部精密機械工学科卒クラス会
9	高校 S 34 全日制電気科電力課程2組卒クラス会	18	二工 S 23 第一本科電気科卒クラス会
25	新潟電機会総会	3. 5	高校 H 16 普通科1・2組, 3組卒合同クラス会
9. 1	電機学校 S 30 9月夜間部高等科通信科卒クラス会	8	三菱電機会総会
15	高校 S 26 全日制電気科電気通信課程卒クラス会	14	都電電機会総会
10. 5	商工懇話会秋季総会	15	秋田県支部総会
13	電機学校 S 22 昼間部電気科本科卒クラス会	18	高校 H 19 全日制普通科8組卒クラス会
10	大学 S 42 工学部第一部機械工学科卒クラス会	22	大学 S 41 工学部第一部応用理化学科卒クラス会
15	大学 S 27 工学部第一部電気工学科卒クラス会	28	東管支部創立30周年記念行事
18	高校 S 26 全日制電気科電気機器課程卒クラス会	30	大学 S 36 工学部第二部電気工学科卒クラス会
19	二工 S 24 第一本科電気科卒クラス会		
20	栃木県支部総会		
〃	大学 S 35 工学部第一部電気工学科, 電気通信工学科卒合同クラス会		